



墨のちから—狩野派障壁画の世界

会期：【前期】2018年3月10日[土]—4月25日[水] 【後期】4月27日[金]—6月24日[日]
会場：ハラミュージアム アーク 特別展示室 観海庵



《狩野派》といえば、日本絵画史上最大の画派であり、室町時代から江戸時代まで400年にわたって君臨し続けた画家集団です。原六郎コレクションには、狩野派の絵師たちによる作品群「三井寺旧日光院客殿障壁画」があります。これは、近江八景の一つ「三井晩鐘(みいのばんしょう)」でも知られる三井寺(みいでら、正式には園城寺=おんじょうじ、滋賀県大津市)の塔頭の一つ、日光院客殿の襖絵として描かれたものです。本展では、狩野永徳の「虎図」など、この障壁画の一部を展示し、狩野派の絵師たちによる水墨表現の魅力を紹介します。

【図版1】

狩野永徳「虎図」(三井寺旧日光院客殿障壁画) 一幅 桃山時代(部分)【前期展示】

■原六郎と三井寺

明治25年(1892年)、原六郎が日光院客殿を建物ごと買い取り、東京・品川の自邸へ移築し、障壁画は掛軸と屏風に改装しました。昭和初期、この建物は護国寺[東京都文京区]に寄進・再移築され、名も月光殿と改め、今では重要文化財に指定されています。

原六郎コレクションとは、ハラミュージアムアークの本館にあたる原美術館[東京都品川区]の館長原俊夫の曾祖父である明治時代の実業家原六郎が収集したもので、日本近世絵画を中心に、書、工芸、さらには中国美術など、国宝・重要文化財をふくむ約120点の貴重な作品を有します。

■虎図

虎は建物の入り口に、来る者を威嚇する意味があって描かれました。また富や地位、子孫繁栄の寓意とされ、吉祥図として描かれることも多かった動物です。筆者とされる狩野永徳(かのうえいとく)は壮麗な桃山時代の絵画様式を確立しました。現存する作品は戦火に焼けて乏しく、本作は画家を語る資料としても存在価値の高いものと位置づけられています。

■雲龍図

龍は八部衆(仏法を守護する八つの神)の一つで、雲をよび雨をもたらす存在とされ、多くの雲龍図が描かれてきました。余白を十分に活かした構図法や画的な処理が目立つ風景描写、筆のクセや独特の形態感覚からは、「野馬図」と同一の特徴を見ることができます。

■野馬図

二点ある「野馬図」(いずれも四幅からなる大作)の一つ。野を駆ける野生馬の群れが柔らかな墨線と淡い墨の濃淡で捉えられています。淡白な墨の描線ながら、毛並みの違う馬たちの姿を躍動感を持ってを伝えています。



左【図版2】狩野派「雲龍図」(三井寺旧日光院客殿障壁画) 二幅 桃山~江戸時代(部分)【前期展示】

右【図版3】狩野派「野馬図」四幅 桃山~江戸時代(部分)【後期展示】



HARA MUSEUM ARC

■出品作品

- 【全期】 円山応挙「淀川兩岸図巻」江戸時代／「葡萄栗鼠蒔絵提重」江戸～明治時代
ディヴィッド スミス「3つの構造」1941年 など
- 【前期】 狩野派「蘭亭図」（三井寺旧日光院客殿障壁画）桃山～江戸時代／狩野永徳「虎図」（三井寺旧日光院客殿障壁画）桃山～江戸時代／狩野派「雲龍図」（三井寺旧日光院客殿障壁画）桃山～江戸時代
- 【後期】 狩野派「野馬図」（三井寺旧日光院客殿障壁画）桃山～江戸時代／狩野派「蘭亭図」（三井寺旧日光院客殿障壁画）桃山～江戸時代／狩野永徳「虎図」（三井寺旧日光院客殿障壁画）桃山時代



【図版4】 特別展示室 観海庵内観

■特別展示室 観海庵（かんかいあん）とは
1988年の開館以来、世界の現代美術を紹介してきたハラミュージアムアークは、2008年、創立20周年を記念して、特別展示室「観海庵」を増設、従来の現代美術館としての活動に加え、当館ならではの視点で古美術を紹介しています。

「観海庵」を手がけたのは、ハラミュージアムアークを設計した建築家磯崎新。書院造を参照して設計された空間での展示を通し、伝統と現代の交差する新しい体験の場を提案しています。

また本年はハラミュージアムアーク創立30周年、観海庵創立10年の節目となる年でもあります。本館にあたる原美術館で開催中の「現代美術に魅せられて 原俊夫による原美術館コレクション展」に合わせ、当館の現代美術ギャラリーでは「海外巡回展の軌跡-原美術館コレクション展」を併催、原美術館とハラミュージアムアークの両館が辿ってきた活動の軌跡を振り返る機会といたします。

【開催概要】

- 展覧会名 墨のちから—狩野派障壁画の世界
- 会 期 【前期】 2018年3月10日[土]—4月25日[水] 【後期】 4月27日[金]—6月24日[日]
- 会 場 ハラミュージアムアーク 特別展示室 観海庵
〒377-0027 群馬県渋川市金井 2855-1 Tel:0279-24-6585 arc@haramuseum.or.jp
- 開館時間 9:30 am - 4:30 pm(入館は4:00 pmまで)
- 休 館 日 木曜日(3月29日、5月3日は開館)
- 入 館 料 一般1,100円、大高生700円、小中生500円

※併催「アートを発信する—原美術館発国際巡回展の軌跡」（現代美術ギャラリー）も併せてご覧いただけます。

原美術館メンバーシップ会員無料、70歳以上半額、20名様以上団体割引あり。学校団体は特別料金規定あり。詳細はお問い合わせください。伊香保グリーン牧場とセットになったお得なチケットもあります。

（一般1,800円、大高生1,500円、中学生1,400円、小学生800円）

[群馬県在住の皆様へ] 県内の小中学生は学期中の土曜の入館無料。

「ぐーちょきパスポート」のご提示により5名様まで入館料各200円割引。

交通案内 JR上越線「渋川駅」より(上越・北陸新幹線利用の場合は「高崎駅」で上越線に乗り換え)伊香保温泉行きバスにて約15分、「グリーン牧場前」下車、徒歩7分。「渋川駅」よりタクシーで約10分。
車の場合、関越自動車道「渋川・伊香保I.C.」より8km、約15分。無料駐車場あり。

<http://www.haramuseum.or.jp>

<http://mobile.haramuseum.or.jp>

<http://twitter.com/HaraMuseumARC>

<http://www.art-it.asia/u/HaraMuseum/>

取材・図版提供などのお問い合わせ先：ハラミュージアムアーク 広報 山川、柳田（担当学芸員 安田）

Tel 0279-24-6585 Fax 0279-24-0449 E-mail press@haramuseum.or.jp